

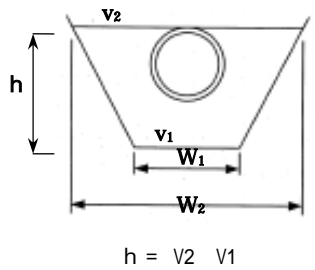
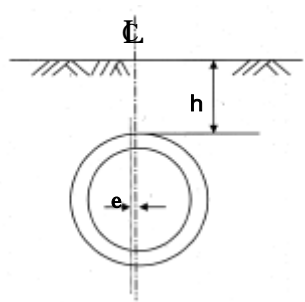
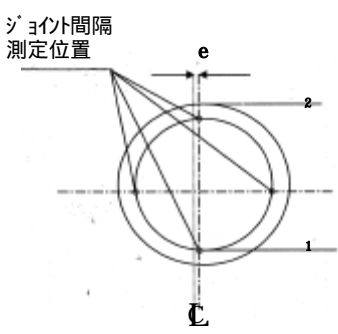
出来形管理基準及び規格値 第21編 管路・畑かん施設編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21	1	4	2		砂基礎工	高 さ h	± 30
						幅 w 1 ~ w 2	- 100
21	1	5	2		硬質塩化ビニル管工	基 準 高	± 50
						埋 設 深 h	- 50
						中心線のズレ e	指定したとき ± 120
						施 工 延 長 L	延長200m未満 - 200 延長200m以上 - 0.1%
21	1	5	3	4	強化プラスチック複 合管工 ダクタイル鋳鉄管	基 準 高	± 30 被圧地下水が ある場合 ± 50
						中心線のズレ e	指定したとき ± 100
						施 工 延 長 L	延長200m未満 - 200 延長200m以上 - 0.1%
						ジョイント間隔 Z	別表ア及び 別表イ参照

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位: mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<ol style="list-style-type: none"> 1. 施工延長50mにつき1箇所割合で測定。 2. 一施工単位 2箇所以上測定。 		<p>基礎材が異なる場合は、種類毎に測定する。 高さ(h)の管理は $V2V1$ で算出するものとする。</p>
<ol style="list-style-type: none"> 1. 施工延長50mにつき1箇所割合で測定。 2. 中心線のズレ(曲線部)については施工延長10mにつき1箇所割合で測定。 3. 一施工単位 2箇所以上測定。 		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 施工延長50mにつき1箇所割合で測定。 2. 中心線のズレ(曲線部)については施工延長10mにつき1箇所割合で測定。 3. 一施工単位 2箇所以上測定。 4. ジョイント間隔については、1本ごとに測定。 	<p>ジョイント間隔測定位置</p>  <p>基準高()は、管底、管頂のいずれか一方を測定し管理する。</p>	<p>基準高の測定は管底を原則とし、測定時は埋戻完了とする。ただし、1,350mm以下は管底での測定作業が困難な場合は、管頂まで埋戻し後の管頂でもよい。eの測定は管頂まで埋戻し時の管頂を原則とする。 なお、「埋戻完了」とは、特に指示がない場合は舗装(表層、上層路盤下層路盤)を除いた埋戻完了時点とする。</p>

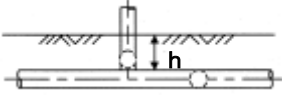
出来形管理基準及び規格値 第21編 管路・畑かん施設編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
21	1	7	4		散水器具工 (スプリンクラー)	埋 設 深 h	- 50

: 出来形管理図表を作成する。

: 設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

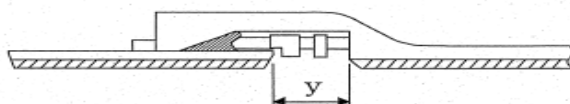
測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
構造図の寸法表示箇所を測定。		

別表ア 管水路(ダクタイル鋳鉄管)ジョイント間隔規格値

(単位:mm)

規格	J D P A		JISG5526及びJDPAG1027		JISG5526及びJDPAG1029			JISG5526及びJDPAG1027,G1029	
	A 形		K 形		U 形			T 形	
呼び径(mm)	規格値		規格値		標準値	規格値		規格値	
75	+19	0	+19	0	-	-	-	+16	0
100	+19	0	+19	0	-	-	-	+16	0
150	+19	0	+19	0	-	-	-	+16	0
200	+19	0	+19	0	-	-	-	+14	0
250	+19	0	+19	0	-	-	-	+14	0
300	+19	0	+19	0	-	-	-	+24	0
350	+31	0	+31	0	-	-	-	+24	0
400	-	-	+31	0	-	-	-	+24	0
450	-	-	+31	0	-	-	-	+24	0
500	-	-	+31	0	-	-	-	+30	0
600	-	-	+31	0	-	-	-	+30	0
700	-	-	+31	0	105	+35	-5	+30	0
800	-	-	+31	0	105	+35	-5	+30	0
900	-	-	+31	0	105	+35	-5	+40	0
1,000	-	-	+36	0	105	+35	-5	+40	0
1,100	-	-	+36	0	105	+35	-5	+40	0
1,200	-	-	+36	0	105	+35	-5	+50	0
1,350	-	-	+36	0	105	+35	-5	+50	0
1,500	-	-	+36	0	105	+35	-5	+60	0
1,600	-	-	+40	0	115	+36	-5	+70	0
1,650	-	-	+45	0	115	+36	-5	+70	0
1,800	-	-	+45	0	115	+36	-5	+80	0
2,000	-	-	+50	0	115	+36	-5	+90	0
2,100	-	-	+55	0	115	+36	-5	-	-
2,200	-	-	+55	0	115	+36	-5	-	-
2,400	-	-	+60	0	115	+36	-5	-	-
2,600	-	-	+70	0	130	+36	-5	-	-

- 注) 1. 規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
 2. 接合時の測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合
 は、管の外から確認してもよい。また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は
 必要ない。
 3. ダクタイル鋳鉄管のうちU形管の標準値はy寸法である。



別表イ 管水路(強化プラスチック複合管)ジョイント間隔規格値

(単位: mm)

規格 呼び径 (mm)	JISA5350					JISA5350				
	B 形 及 び T 形					C 形				
	標準値	規格値				標準値	規格値			
良質地盤		軟弱地盤		良質地盤			軟弱地盤			
200	0	+33	-33(0)	+22	-22(0)	0	+33	0	+22	0
250	0	+33	-33(0)	+22	-22(0)	0	+33	0	+22	0
300	0	+38	-38(0)	+25	-25(0)	0	+38	0	+25	0
350	0	+38	-38(0)	+25	-25(0)	0	+38	0	+25	0
400	0	+43	-43(0)	+28	-28(0)	0	+43	0	+28	0
450	0	+43	-43(0)	+28	-28(0)	0	+43	0	+28	0
500	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+53	0	+35	0
600	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+53	0	+35	0
700	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+53	0	+35	0
800	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+53	0	+35	0
900	0	+53	-52(0)	+35	-34(0)	0	+53	0	+35	0
1,000	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+53	0	+35	0
1,100	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+53	0	+35	0
1,200	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+53	0	+35	0
1,350	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+53	0	+35	0
1,500	0	+53	-51(0)	+35	-33(0)	0	+53	0	+35	0
1,650	0	+80	-77(0)	+53	-50(0)	0	+80	0	+53	0
1,800	0	+80	-77(0)	+53	-50(0)	0	+80	0	+53	0
2,000	0	+95	-92(0)	+63	-60(0)	0	+95	0	+63	0
2,200	0	+95	-92(0)	+63	-60(0)	0	+95	0	+63	0
2,400	0	+113	-110(0)	+75	-72(0)	0	+113	0	+75	0
2,600	0	+113	-110(0)	+75	-72(0)	-	-	0	-	0
2,800	0	+128	-125(0)	+85	-82(0)	-	-	0	-	0
3,000	0	+128	-125(0)	+85	-82(0)	-	-	0	-	0

- 注) 1. 規格値は埋戻し後の値であり、原則として4箇所のうち1箇所でもこの値を超えてはならない。
 2. 測定は、原則として管の内から測定するものとする。ただし、呼び径700mm以下の場合、管の外から測定してもよい。また、埋戻し後の測定は、原則として呼び径700mm以下の測定は必要ない。
 3. 継手部の標準断面は下記のとおりであり、標準値は図の寸法yである。なお、基準線に対し抜け出し側を(+), 入り込み側を(-)とする。また、管理基準値等のうち()内数値は、点線で示した形状の管に適用する。

